

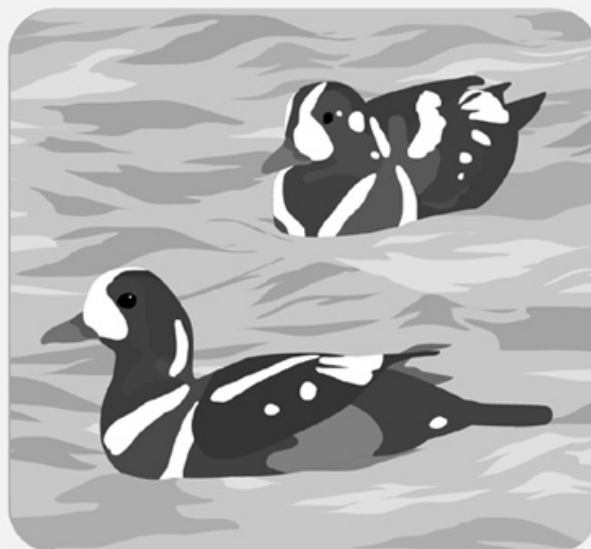
ネイチャーセンターだより

シノリガモ

Harlequin Duck

大変華やかな色彩であったり、人間には思いつかないような模様であったり、どうしてそのような体になったのか不思議に思う鳥たちがいます。このシノリガモのオスも大変特徴的な模様と色あいをしています。おかげで、遠くからでも簡単に識別できる鳥でもあります。

春国岱の沿岸には少なく、根室半島では納沙布岬から太平洋側の岩場でよく見かけます。見ていると凍えるような海の上で、元気に潜ってはエサを探しています。



1 & 2月のイベント



お申し込み・お問い合わせは、ネイチャーセンターまで(0153-25-3047)

ワシワシウォッチング

北海道でも高知でも?

日時 1月28日(日) 8:00~10:30
対象 どなたでも 20名
(小学生は保護者同伴)
申込 1月25日まで
参加費 1000円/1人(保険・資料代として)
概要 冬の寒さに静まりかえったような風蓮湖周辺。そこには、数百にも及ぶワシの群れが訪れます。世界で最も美しいと言われるオオワシを見に行きませんか。

日時 2月3日(土)
~2月25日(日)
センター開館時に無料でご覧いただけます

概要 ネイチャーイラストレーターの松下(宮野)和江さんによる自然よもやま話の第2弾! 北海道と高知、気候も野生の生き物たちの顔ぶれも違うけれど、両方の場所で生活している植物たちもいる。彼らは、同じ顔をしているのだろうか? それとも? 面白イラストとショートエッセイ、写真による、南北植物比較紹介です!



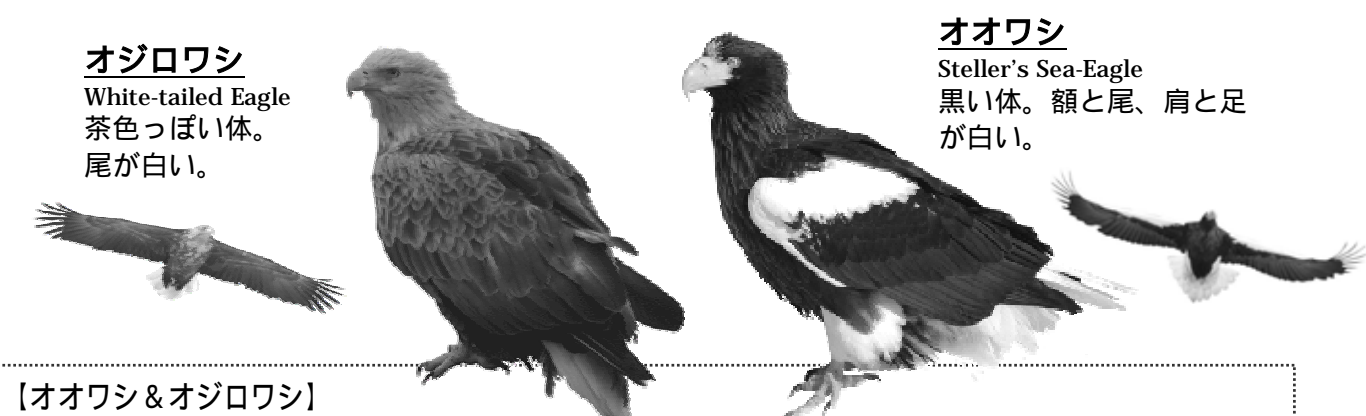
* 自然情報拡大版（ワシ類・根室半島情報） *

ワシ類や冬鳥でにぎわう冬の根室半島には、国内外からバードウォッチャーが訪れます。防寒対策をして、冬の根室半島に鳥を探しに行ってみましょう。いろいろな鳥との出会いがきっと待っていますよ。



春国岱	春国岱の森を歩くコースが低気圧による木道破損のため通行止めです。浜辺のコースとセンター横の自然学習林を散策してみてください。 オオワシ、オジロワシ、カラ類、ケラ類、エナガ、キウイタダキ、ケアシノスリ、ユキホオジロなど
走古丹	近年冬季にゲートができ、先端まで車で行けなくなりました。 オオワシ、オジロワシ、ピロードキンクロなど
川口	センターから釧路方向に進み、道の駅を過ぎ、別当賀川を渡ると右手に『CANOE CRAFT』という看板があるのでそこを右折。突き当たりが漁港です。 オオワシ、オジロワシなど
落石岬	漁港や岬からは海鳥、岬までの木道では森の小鳥類が見られます。崖に注意。 ピロードキンクロ、カモメ類、ウミスズメ、ヒガラなど
花咲	カモメ類や海ガモ類などが比較的近くで見られます。 カモメ類、コオリガモ、シノリガモなど
齒舞	カモメ類や海ガモ類などが比較的近くで見られます。 カモメ類、コオリガモ、クロガモ、スズガモなど
納沙布岬	双眼鏡や望遠鏡で海の上を探してみると、海鳥が見られます。とても寒いので、ウミスズメ、ウミガラス、シノリガモ、ヒメウなど

陸で見られる冬の鳥たち



【オオワシ＆オジロワシ】
 ワシ類は風蓮湖周辺や根室半島において、冬季は見つけやすい鳥です。上空を飛んでいたりと、時には電柱の上に止まっていることもあります。
 オオワシやオジロワシは主に魚を食べるワシなので、根室では風蓮湖や漁港など、網を上げる場所や水揚げをする場所の周辺で、おこぼれを狙うワシが見られます。
 冬の漁業『氷下待網漁』（こおりしたまちあみりょう）が行われる風蓮湖や温根沼には、特にたくさんのワシが集まります。2006年2月13日の調査では、風蓮湖全体で、オオワシが919羽、オジロワシが239羽、合計1,158羽のワシが確認されました。
 観察ポイントの一つに川口漁港があります。網上げの時間帯には氷った風蓮湖の湖上にたくさんのワシの姿を見ることができます。ただし、観察に行く際には漁師さんの邪魔にならないように、そして不用意に氷上にあがることをさけるなど、ご注意ください。



ネイチャーセンター日記

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしく願いいたします。

今年の冬は全道的に雪の少ない地域が多いようです。1月中旬となった今現在、春国岱にはほとんど積雪がなく、茶色い草が見えています。また、風蓮湖もなかなか結氷せず、雪も氷も少ない中、2007年のスタートとなりました。

1月初旬には、風蓮湖や温根沼は水面が見えていたのですが、中旬になると気温が低い日が続き、どんどん氷が張ってきました。氷が厚くなり、本格的に氷下待網漁が始まれば、オオワシ・オジロワシが風蓮湖や温根沼に集まります。

28日のワシウォッチングの時には、漁が本格化してたくさんのワシに出会えると良いですね。



メール配信のお願い

郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール（PDF形式）で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。（郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。）

連絡先：nemu_nc@marimo.or.jp

団体向けプログラムのご案内

野外解説 (1~2時間 / 10~20名)

自然のお話 (25分 / 10~45名)

自然のクイズラリー (1時間 / 10~50名)

タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム

(0.5~2時間 / 10~20名)

事前申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等に限らせていただきます。

~ 雑学クイズ ~

今月の表紙にもなっているシノリガモ。「シノリ」とはどんな由来でつけた名前なのでしょう？

アイヌ語から
もともとアイヌ語でシノリと呼ばれていたから

着物の柄
しのりという模様の着物の柄が似ていたから

夜明け・朝焼けの色
夜明けや朝焼けの意味で色彩が似ているから

答えは右側

春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

住所 〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

電話 0153-25-3047 FAX 0153-25-8570

H P http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

メール nemu_nc@marimo.or.jp

1・2月の開館時間 9:00~16:30

1・2月の休館日 1月1・5・9・10・17・24・31日

2月7・12・14・21・28日



2007.1 発行